



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 株式会社ハードオフコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2674 URL <https://www.hardoff.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室長兼 経営管理本部長 (氏名) 長橋 健 TEL 0254-24-4344
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	27,040	10.3	2,312	51.0	2,510	50.5	1,653	58.7
2022年3月期	24,507	15.2	1,530	92.4	1,668	88.2	1,041	199.3

(注) 包括利益 2023年3月期 2,130百万円 (78.1%) 2022年3月期 1,196百万円 (81.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	119.13	—	11.4	12.7	8.6
2022年3月期	75.06	—	7.8	9.1	6.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	20,722	15,349	73.7	1,099.30
2022年3月期	18,736	13,750	73.1	986.56

(参考) 自己資本 2023年3月期 15,277百万円 2022年3月期 13,693百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,766	△820	△714	2,909
2022年3月期	1,484	△219	△899	2,604

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	555	53.3	4.2
2023年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	833	50.4	5.8
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	62.00	62.00		50.7	

(注) 1. 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 5円00銭

2. 2023年3月期における期末配当金については、50円から60円に変更しております。詳細については、本日(2023年5月11日)に公表しました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	10.3	1,017	△3.5	1,120	△2.3	720	△2.6	51.81
通期	30,000	10.9	2,550	10.3	2,700	7.5	1,700	2.8	122.32

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期	13,954,000株	2022年3月期	13,954,000株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期	56,454株	2022年3月期	73,979株
----------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数

2023年3月期	13,882,950株	2022年3月期	13,880,021株
----------	-------------	----------	-------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、行動制限の緩和等により緩やかに持ち直しの動きが見られましたが、個人消費の回復を含めた景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。当社が属するリユース業界におきましては、SDGsの取り組みが広がる中でリユースへの関心が高まっていることや、インフレに伴うリユース品需要の増加等の追い風を受け、市場は順調に成長をしております。

当連結会計年度のリユース店舗の出店につきましては、直営店20店舗を新規出店、8店舗を閉店し、F C加盟店15店舗を新規出店、10店舗を閉店いたしました。以上の結果、リユース店舗数は直営店は408店舗、F C加盟店は523店舗となり、合計931店舗となりました。

当連結会計年度末時点における各業態別の店舗数は次表のとおりであります。

(単位：店)

店舗数	ハードオフ	オフハウス	モードオフ	ガレージ オフ	ホビーオフ	リカーオフ	ブックオフ	海外	リユース 合計	ブックオン
直営店	140 (+7)	126 (+1)	15 (△3)	10 (△1)	56 (+6)	4 (±0)	50 (±0)	7 (+2)	408 (+12)	1 (△1)
F C加盟店	237 (+4)	195 (△2)	2 (±0)	5 (±0)	76 (+3)	1 (±0)	—	7 (±0)	523 (+5)	—
合計	377 (+11)	321 (△1)	17 (△3)	15 (△1)	132 (+9)	5 (±0)	50 (±0)	14 (+2)	931 (+17)	1 (△1)

(注) 1. () 内は期中増減数を表しております。

2. 子会社の株式会社ハードオフファミリーおよび株式会社エコプラスが運営する店舗は直営店に含めております。

3. 子会社の台湾海徳沃福股份有限公司およびECO TOWN USA INC. が運営する店舗は、海外直営店に含めております。

当連結会計年度の経営成績は、国内既存店売上高が9.6%増と好調に推移しました。インターネット売上高が17.0%増、米国及び台湾の海外店舗も前期からの好調を継続した結果、全社売上高は27,040百万円（前期比10.3%増）となり、27期連続増収、過去最高を更新しました。

利益面におきましては売上総利益率が0.1%ポイント改善し、売上総利益は18,591百万円（前期比10.4%増）、販売費及び一般管理費は16,279百万円（前期比6.3%増）となった結果、営業利益は2,312百万円（前期比51.0%増）、経常利益は2,510百万円（前期比50.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,653百万円（前期比58.7%増）とそれぞれ大幅増益となり、何れも7期ぶりに過去最高を更新しました。

①リユース事業

当事業におきましては、売上高は25,714百万円（前期比10.6%増）となりました。

②F C事業

当事業におきましては、商品・加盟料・ロイヤリティ収入等の売上高は1,295百万円（前期比5.8%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,237百万円の増加の11,021百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加305百万円、商品の増加768百万円によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて749百万円の増加の9,701百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加361百万円、無形固定資産の増加20百万円および、投資その他の資産の増加367百万円によるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,986百万円の増加の20,722百万円となりました。

（負債）

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて319百万円の増加の4,188百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等の増加214百万円によるものであります。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて67百万円の増加の1,184百万円となりました。この主な要因は、資産除去債務の増加111百万円およびリース債務の減少43百万円によるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて387百万円の増加の5,373百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,599百万円の増加の15,349百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加1,098百万円およびその他有価証券評価差額金の増加458百万円によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が2,426百万円発生しましたが、法人税等の支払等により、当連結会計年度末には2,909百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは1,766百万円の収入（前期は1,484百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益2,426百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは820百万円の支出（前期は219百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出634百万円、無形固定資産の取得による支出227百万円、投資有価証券売却による収入67百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは714百万円の支出（前期は899百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払555百万円およびリース債務の返済による支出172百万円によるものであります。

（4）今後の見通し

当社は、2019年度より以下の新たな長期ビジョンを掲げております。

「理念経営に磨きをかけ、誰にも真似できない唯一無二の存在になる。強いリアル店舗を中心とした“Re”NK CHANNEL（リンクチャンネル*）を作り上げ、日本国内でも、海外でも、圧倒的なリユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の構築に貢献する。」

* “Re” NK CHANNEL（リンクチャンネル） リアル店舗とインターネットの様々なチャンネルを融合させるハードオフ版のオムニチャンネル戦略

また、中期計画として「2025年 1,000店舗体制」を掲げ、既存店のブラッシュアップと積極的な出店を行っております。

2023年度もリアルとネットの両軸を武器に、計画の実現に向け取り組んでまいります。

出店につきましては、直営店は29店舗、FC加盟店は16店舗、計45店舗の純増を予定しております。

以上により、2024年3月期の通期業績の見通しは、売上高30,000百万円（前期比10.9%増）、営業利益2,550百万円（前期比10.3%増）、経常利益2,700百万円（前期比7.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,700百万円（前期比2.8%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社は、「株主の皆様への利益還元」を重要な経営方針のひとつとして位置づけております。1株当たりの利益や自己資本利益率（ROE）、キャッシュ・フローを向上させ、企業価値を高めるための積極的な事業展開を推進することにより経営基盤や財務体質の強化をはかり、連結配当性向50%程度を目安に、業績に裏付けされた安定的な配当を実施していく方針であります。

② 当期の剰余金の配当

2023年3月期の期末配当金につきましては、当期の業績や内部留保等を総合的に勘案し、1株につき60円とさせていただきます。

③ 次期の剰余金の配当

次期の剰余金の配当につきましては、1株当たりの年間配当金を62円とさせていただく予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,604,860	2,909,983
売掛金	836,176	984,567
商品	5,881,313	6,650,020
仕掛品	447	478
その他	463,718	479,187
貸倒引当金	△3,066	△3,153
流動資産合計	9,783,449	11,021,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,925,529	7,274,008
減価償却累計額	△4,938,173	△5,070,118
建物及び構築物 (純額)	1,987,355	2,203,890
土地	970,044	972,119
リース資産	1,792,431	1,834,393
減価償却累計額	△1,461,862	△1,509,804
リース資産 (純額)	330,568	324,589
建設仮勘定	6,715	11,665
その他	816,983	1,001,522
減価償却累計額	△754,014	△794,336
その他 (純額)	62,968	207,185
有形固定資産合計	3,357,652	3,719,449
無形固定資産		
ソフトウェア	493,698	552,421
その他	72,702	34,113
無形固定資産合計	566,401	586,535
投資その他の資産		
投資有価証券	2,401,942	2,996,680
繰延税金資産	478,546	261,345
敷金	1,482,886	1,486,664
その他	674,627	659,200
貸倒引当金	△9,475	△8,275
投資その他の資産合計	5,028,527	5,395,616
固定資産合計	8,952,581	9,701,601
資産合計	18,736,031	20,722,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,501	63,897
短期借入金	1,760,000	1,750,000
リース債務	158,719	117,762
未払法人税等	354,283	568,475
未払金	337,122	361,047
未払費用	894,991	963,158
賞与引当金	—	36,000
契約負債	12,671	27,502
その他	294,723	300,760
流動負債合計	3,869,013	4,188,604
固定負債		
リース債務	329,855	285,979
資産除去債務	482,610	594,052
長期未払金	216,704	216,596
その他	87,665	87,966
固定負債合計	1,116,834	1,184,594
負債合計	4,985,847	5,373,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,676,275	1,676,275
資本剰余金	1,895,362	1,910,632
利益剰余金	9,516,445	10,615,106
自己株式	△37,603	△28,723
株主資本合計	13,050,480	14,173,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	651,093	1,109,803
為替換算調整勘定	△8,074	△5,515
その他の包括利益累計額合計	643,018	1,104,287
非支配株主持分	56,685	71,908
純資産合計	13,750,184	15,349,487
負債純資産合計	18,736,031	20,722,685

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	24,507,275	27,040,828
売上原価	7,664,105	8,448,905
売上総利益	16,843,170	18,591,922
販売費及び一般管理費	15,312,422	16,279,777
営業利益	1,530,748	2,312,144
営業外収益		
受取配当金	25,265	49,491
受取地代家賃	30,436	36,893
為替差益	16,577	43,054
リサイクル収入	25,205	29,932
助成金収入	26,121	15,728
その他	27,960	36,678
営業外収益合計	151,566	211,779
営業外費用		
支払利息	11,253	8,506
その他	2,155	4,545
営業外費用合計	13,409	13,051
経常利益	1,668,905	2,510,872
特別利益		
投資有価証券売却益	105,118	2,121
固定資産売却益	27	69
受取保険金	—	12,111
補助金収入	3,245	—
特別利益合計	108,391	14,303
特別損失		
固定資産除却損	1,809	16
固定資産圧縮損	3,245	—
減損損失	139,232	95,159
災害による損失	18,799	3,681
投資有価証券評価損	6,642	—
特別損失合計	169,728	98,858
税金等調整前当期純利益	1,607,567	2,426,317
法人税、住民税及び事業税	547,660	743,030
法人税等調整額	10,671	16,056
法人税等合計	558,331	759,087
当期純利益	1,049,236	1,667,230
非支配株主に帰属する当期純利益	7,334	13,368
親会社株主に帰属する当期純利益	1,041,901	1,653,861

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,049,236	1,667,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,860	458,709
為替換算調整勘定	32,351	4,413
その他の包括利益合計	147,211	463,123
包括利益	1,196,448	2,130,354
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,183,175	2,115,130
非支配株主に係る包括利益	13,273	15,223

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

当期首残高	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,676,275	1,895,362	8,960,344	△37,603	12,494,378
当期変動額					
剰余金の配当			△485,800		△485,800
親会社株主に帰属する当期純利益			1,041,901		1,041,901
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	556,101	—	556,101
当期末残高	1,676,275	1,895,362	9,516,445	△37,603	13,050,480

当期首残高	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	536,233	△34,487	501,745	43,412	13,039,536
当期変動額					
剰余金の配当					△485,800
親会社株主に帰属する当期純利益					1,041,901
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	114,860	26,412	141,273	13,273	154,546
当期変動額合計	114,860	26,412	141,273	13,273	710,647
当期末残高	651,093	△8,074	643,018	56,685	13,750,184

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

当期首残高	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,676,275	1,895,362	9,516,445	△37,603	13,050,480
当期変動額					
剰余金の配当			△555,200		△555,200
親会社株主に帰属する当期純利益			1,653,861		1,653,861
自己株式の取得				△59	△59
自己株式の処分		15,270		8,938	24,208
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	15,270	1,098,661	8,879	1,122,810
当期末残高	1,676,275	1,910,632	10,615,106	△28,723	14,173,290

当期首残高	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	651,093	△8,074	643,018	56,685	13,750,184
当期変動額					
剰余金の配当					△555,200
親会社株主に帰属する当期純利益					1,653,861
自己株式の取得					△59
自己株式の処分					24,208
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	458,709	2,558	461,268	15,223	476,492
当期変動額合計	458,709	2,558	461,268	15,223	1,599,303
当期末残高	1,109,803	△5,515	1,104,287	71,908	15,349,487

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,607,567	2,426,317
減価償却費	522,463	574,128
減損損失	139,232	95,159
災害による損失	—	3,681
受取保険金	—	△12,111
受取補償金	△3,245	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△455	△1,113
受取利息及び受取配当金	△27,748	△51,938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	36,000
支払利息	11,253	8,506
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△98,476	△2,121
売上債権の増減額 (△は増加)	△61,076	△147,906
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△252,554	△752,075
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,351	6,833
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△46,677	19,790
未払金の増減額 (△は減少)	8,287	△8,312
未払費用の増減額 (△は減少)	110,069	74,642
その他	142	△27,281
小計	1,931,133	2,242,199
利息及び配当金の受取額	25,511	49,883
利息の支払額	△11,161	△8,506
災害損失の支払額	—	△3,681
保険金の受取額	—	14,982
補償金の受取額	3,829	—
法人税等の支払額	△465,294	△528,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,484,017	1,766,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△16,830	—
投資有価証券の売却による収入	315,151	67,158
有形固定資産の取得による支出	△307,261	△634,944
無形固定資産の取得による支出	△213,134	△227,707
差入保証金の差入による支出	△10,168	△18,736
敷金の差入による支出	△53,880	△75,581
敷金の回収による収入	67,033	69,081
その他	△455	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219,544	△820,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△220,000	△10,000
自己株式の取得による支出	—	△59
自己株式の売却による収入	—	24,208
リース債務の返済による支出	△193,914	△172,979
配当金の支払額	△485,778	△555,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△899,692	△714,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,834	73,853
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	407,614	305,123
現金及び現金同等物の期首残高	2,197,245	2,604,860
現金及び現金同等物の期末残高	2,604,860	2,909,983

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社および子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にリユース品の買い取り・販売を行っており、事業形態から「リユース事業」および「FC事業」として事業活動を展開しているため、この2つを報告セグメントとしております。

「リユース事業」はリユースショップ「ハードオフ」「オフハウス」「モードオフ」「ガレージオフ」「ホビーオフ」「リカーオフ」「ブックオフ（フランチャイジー）」の運営事業であり、「FC事業」はリユースショップ「ハードオフ」「オフハウス」「モードオフ」「ガレージオフ」「ホビーオフ」「リカーオフ」のフランチャイズ・チェーン事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引は市場実勢価格にもとづいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	リユース事業	F C 事業	合計				
売上高							
外部顧客への 売上高	23,251,453	1,224,626	24,476,080	31,195	24,507,275	—	24,507,275
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	283,281	283,281	141,772	425,053	△425,053	—
計	23,251,453	1,507,907	24,759,361	172,967	24,932,329	△425,053	24,507,275
セグメント 利益	2,923,064	645,972	3,569,037	23,234	3,592,271	△2,061,523	1,530,748
セグメント 資産	11,760,211	289,616	12,049,828	18,579	12,068,408	6,667,623	18,736,031
その他の項目							
減価償却費	317,087	4,691	321,778	241	322,019	200,444	522,463
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	505,612	3,369	508,981	—	508,981	238,601	747,583

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△2,061,523千円は、セグメント間取引消去94,124千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,155,648千円であります。

(2) セグメント資産の調整額6,667,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) セグメント間の内部売上高又は振替高について、区分して掲記しております。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	リユース事業	FC事業	合計				
売上高							
外部顧客への 売上高	25,714,213	1,295,730	27,009,944	30,883	27,040,828	—	27,040,828
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	344,936	344,936	181,400	526,337	△526,337	—
計	25,714,213	1,640,667	27,354,881	212,284	27,567,165	△526,337	27,040,828
セグメント 利益	3,923,572	866,817	4,790,390	19,756	4,810,146	△2,498,002	2,312,144
セグメント 資産	13,520,942	346,109	13,867,052	29,335	13,896,387	6,826,298	20,722,685
その他の項目							
減価償却費	494,114	66,140	560,255	286	560,542	13,586	574,128
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	997,930	39,861	1,037,792	—	1,037,792	26,461	1,064,254

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△2,498,002千円は、セグメント間取引消去5,377千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,503,380千円であります。

(2) セグメント資産の調整額6,826,298千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) セグメント間の内部売上高又は振替高について、区分して掲記しております。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品およびサービスごとの情報

当社グループは、リユース品の買い取りおよび販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品およびサービスごとの情報

当社グループは、リユース品の買い取りおよび販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	リユース事業	F C事業	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	139,232	—	139,232	—	139,232

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	リユース事業	F C事業	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	95,159	—	95,159	—	95,159

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	986.56円	1,099.30円
1株当たり当期純利益	75.06円	119.13円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額	13,750,184千円	15,349,487千円
純資産の部の合計額から控除する金額	56,685千円	71,908千円
(うち非支配株主持分)	(56,685千円)	(71,908千円)
普通株式に係る期末の純資産額	13,693,498千円	15,277,578千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	13,880千株	13,897千株

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,041,901千円	1,653,861千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	1,041,901千円	1,653,861千円
期中平均株式数	13,880千株	13,882千株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。